

2026年3月17日  
濃飛倉庫運輸株式会社

## 濃飛倉庫運輸、創立110周年記念事業として「“未来へ繋ぐ”ユニフォーム」導入 ～タキヒヨーの海洋廃棄ペットボトル由来サステナブル素材「AQUAROBÉ®」を採用～

1916年創立の濃飛倉庫運輸株式会社(本社:岐阜県岐阜市、代表取締役社長:尾関 圭司)は、創立110周年記念事業の一環として従業員ユニフォームを刷新し、2026年4月より導入することをお知らせします。本ユニフォームには、タキヒヨー株式会社(本社:名古屋市西区、代表取締役 社長執行役員:滝一夫)が開発した、海洋廃棄ペットボトル由来のサステナブル素材「AQUAROBÉ®(アクアローブ)」を採用いたしました。

### 【取り組みの背景】

近年、国際物流を担う企業として、サプライチェーン全体での環境負荷低減やSDGsへの貢献は、果たすべき重要な社会的責任であると認識しております。

こうした背景のもと、当社は創立110周年という歴史的な節目に、未来への持続可能性に対する企業姿勢を明確に示す象徴的な取り組みとして、全従業員が着用するユニフォームの刷新を決定いたしました。

この想いを実現する最適なパートナーとしてタキヒヨー株式会社と協業し、同社が展開する海洋廃棄ペットボトル由来のサステナブル素材「AQUAROBÉ®」の採用に至りました。



### 【取り組みの概要と特徴】

2026年4月より、当社の従業員ユニフォームとして、環境配慮型素材「AQUAROBÉ®」を使用したサステナブルユニフォームを導入します。

- 「AQUAROBÉ®」について  
海岸・海洋に投棄されたペットボトルを再生した原料から作られるリサイクル素材です。
- 環境問題の原因となりうる海洋ごみを回収し、再び製品として利用することで、廃棄物の削減と資源の有効活用に貢献します。

- **特徴 1: 海洋廃棄ペットボトル由来のサステナブル素材**  
深刻化する海洋プラスチックごみ問題の解決に貢献し、企業の環境負荷低減に向けた姿勢を明確に示します。
- **特徴 2: 創立 110 周年を記念するシンボル**  
当社の歴史的な節目に、未来への持続可能性をコミットメントする象徴として導入。企業のブランド価値向上とステークホルダーへのメッセージ強化を図ります。
- **特徴 3: 異業種連携による課題解決**  
物流とファッション、それぞれの専門性を活かしたパートナーシップにより、サステナビリティという社会共通の課題解決を目指します。

### 【今後の展望】

当社は本ユニフォームの導入を機に、従業員一人ひとりの環境意識の向上を図るとともに、今後もサプライチェーン全体での環境負荷低減に努め、持続可能な社会の実現に貢献する企業活動を推進してまいります。

---

### 【濃飛倉庫運輸株式会社 会社概要】

- **会社名:** 濃飛倉庫運輸株式会社
- **代表者:** 代表取締役社長 尾関 圭司
- **所在地:** 岐阜県岐阜市橋本町 2 丁目20番地
- **創立:** 1916 年(大正 5 年)
- **事業内容:** 倉庫業、貨物自動車運送事業、貨物利用運送事業(鉄道、海運、航空)、港湾運送事業、通関業、自動車整備事業、不動産賃貸業、損害保険代理業 他
- **公式ウェブサイト:** <https://www.nohhi.co.jp/>

### 【タキヒヨー株式会社 会社概要】

- **会社名:** タキヒヨー株式会社
- **代表者:** 代表取締役社長執行役員 滝一夫
- **所在地:** 〒451-8688 愛知県名古屋市西区牛島町 6 番 1 号  
名古屋ルーセントタワー23・24 階
- **創業:** 1751 年 5 月
- **公式ウェブサイト:** <https://www.takihyo.co.jp/>
- **サステナブルサイト:** <https://takihyo.jp>